



Make the Front Runner



## 開催結果報告書

開催日：平成 20 年 11 月 5 日～7 日

会 場：長浜バイオ大学

県立長浜ドーム宿泊研修館

滋賀バイオ産業推進機構

## 開催概要結果

**名 称** バイオビジネス 2008inびわ湖

**テ ー マ** 「バイオテクノロジーによる環境・健康産業への挑戦」

### 開催趣旨

- ① 中小企業にバイオテクノロジーを幅広く理解してもらい、自社製品へのバイオテクノロジーの応用やバイオ関連産業への参入を促す。
- ② 既に事業化に取り組んでいるバイオベンチャー・バイオ関連企業にビジネスチャンスにつながる場を提供するとともに、県内企業との連携による新たな事業の創出を目指す。また、大学のシーズ情報を提供し、産学連携による研究開発・事業化を促す。
- ③ 滋賀から全国に向けて、最新のバイオ関連産業の情報発信を行う。

**主 催** 滋賀バイオ産業推進機構

**共 催** 長浜バイオネットワーク  
(滋賀県、長浜市、長浜商工会議所(長浜みらい産業プラザ)、長浜バイオ大学、  
有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会)

**後 援** 近畿経済産業局、(財)バイオインダストリー協会、  
NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、(社)滋賀経済産業協会、  
(財)滋賀県産業支援プラザ、滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会

**開催日程** 2008年11月5日(水)～7日(金)

**会 場** 11月5日 : 長浜バイオ大学  
11月6日・7日 : 県立長浜ドーム宿泊研修館

**来場者数** 11月5日 : 93人  
11月6日 : 189人  
11月7日 : 187人                      合計 延べ 469人

## 各プログラムの結果概要

### ◇11月5日

○びわこバイオフィォラム「食品成分の機能開発と新産業創出」 93人参加

### ◇11月6日

○ビジネスマッチング

・展示会 19ブース出展

・バイオビジネスプレゼンテーション 7者

○Bioビジネス戦略セミナー「メタボ対策ニーズの高まりと健康産業の動向」 40人参加

○ランチョン交流会 38人参加

### ◇11月7日

○ビジネスマッチング

・展示会 18ブース出展

・バイオビジネスプレゼンテーション 7者

○Bioビジネス戦略セミナー「バイオを支えるものづくり産業」 48人参加

○ランチョン交流会 30人参加

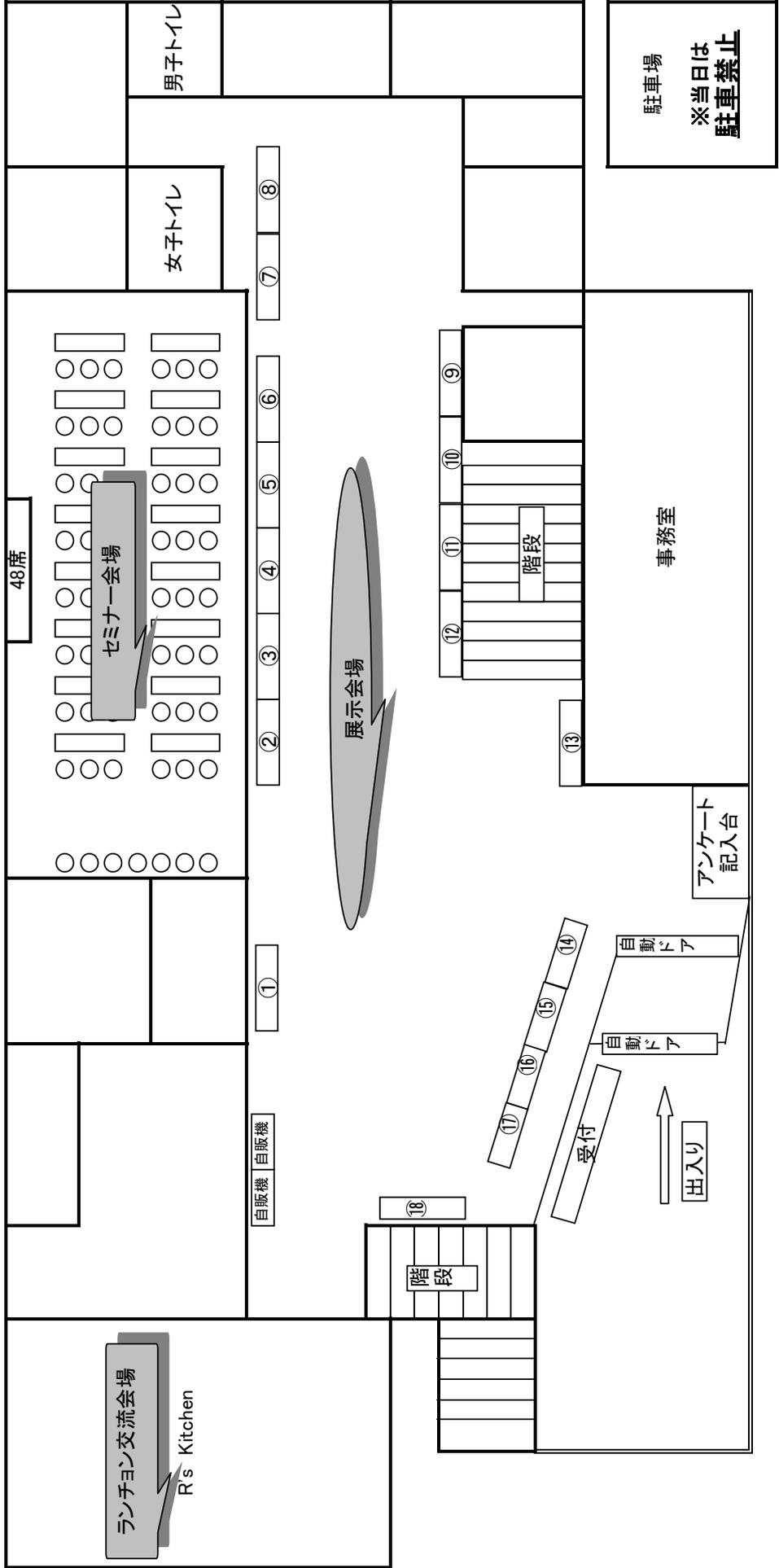
## 参加費用

○びわこバイオフィォラム 無料

○ビジネスマッチング 無料

○Bioビジネス戦略セミナー 1,000円

○ランチョン交流会 2,000円



## 会場配置表

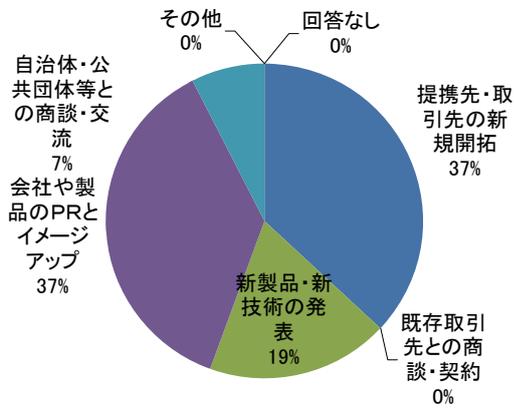
平成20年11月6日(木)出展配置	平成20年11月7日(金)出展配置
①財京都高度技術研究所	①財京都高度技術研究所
②星野科学	②中部飼料(株)
③株東洋発酵	③株明豊建設
④株式会社シードライフテック	④京大農学農学研究科 応用生物学海洋生物機能学分
⑤株日吉	⑤株日吉
⑥青花食研(株)	⑥株美創技研
⑦奈良県中小企業支援センター	⑦長浜バイオインキュベーションセンター
⑧長浜バイオ大学・長浜バイオインキュベーションセンター	⑧長浜バイオ大学
⑨財滋賀県産業支援プラザ	⑨財滋賀県産業支援プラザ
⑩株バイオセラピーメディカル	⑩山科精器(株)
⑪滋賀医科大学	⑪滋賀医科大学
⑫立命館大学	⑫立命館大学
⑬カシロ産業(株)	⑬関西オートメ機器(株)
⑭日本アドバンストアグリ(株)	⑭日本アドバンストアグリ(株)
⑮アイ・シード	⑮小松電子(株)
⑯株イーグル技術研究所	⑯株イーグル技術研究所
⑰中小機構 北陸支部 いしかわ大学連携インキュベータ	⑰中小機構 北陸支部 いしかわ大学連携インキュベータ
⑱石川県立大学	⑱石川県立大学

# 出展の成果

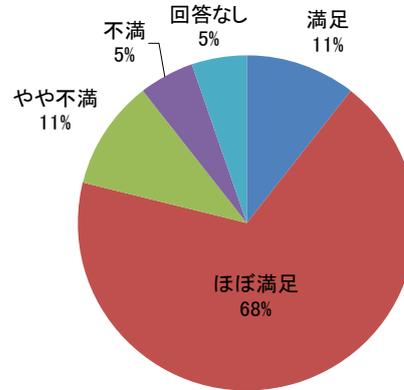
## 出展者の目的と達成度

出展者の7割が「ほぼ満足」以上

出展目的



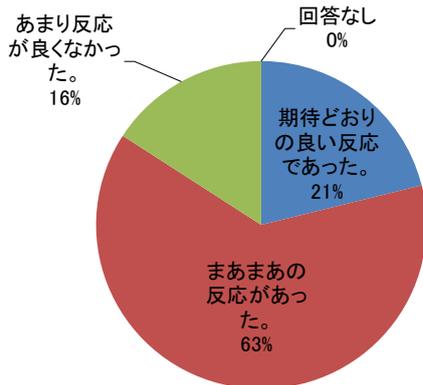
出展目的に対する満足度



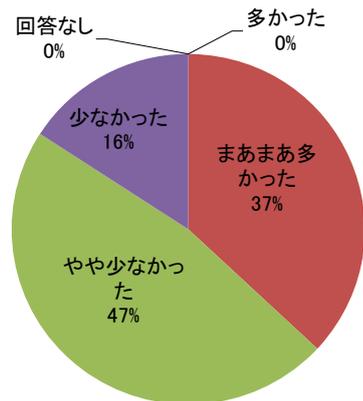
## 来場者の反応

8割以上が来場者の反応があった回答

出展に対する来場者の反応



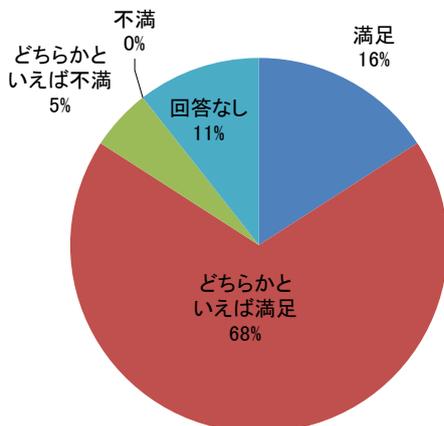
想定された業種からの来場者数



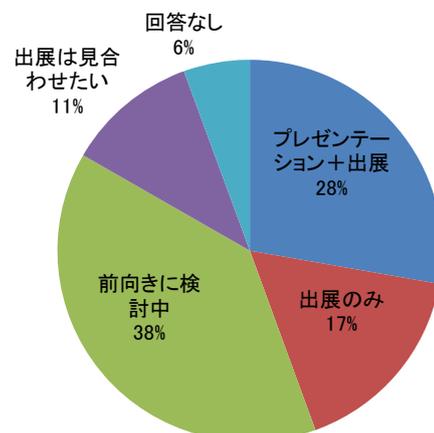
## 当イベントに対する評価

イベントに対しても8割以上の出展者が「ほぼ満足」以上

当イベントの総合的な評価



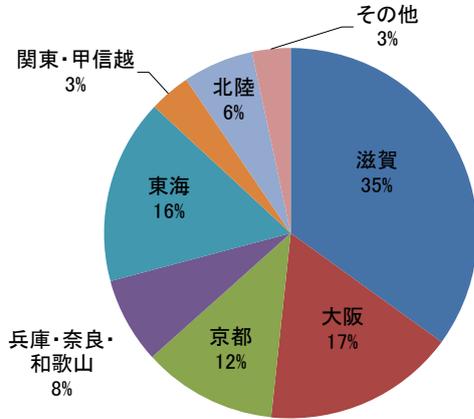
次年度の出展意向



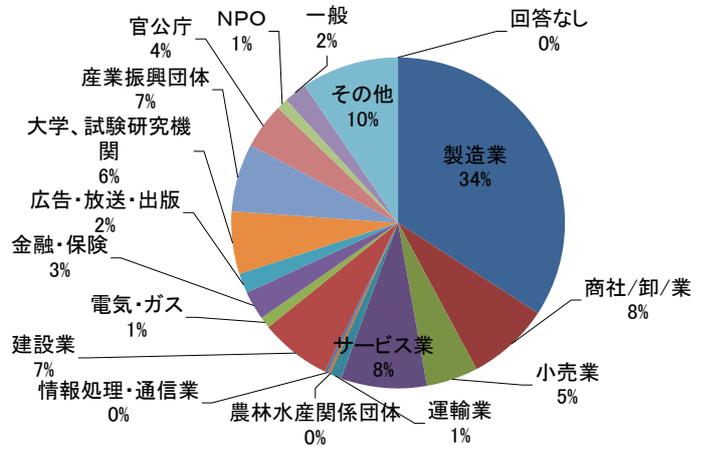
# 来場の成果

来場者は「製造業」「商社/卸/業」「サービス業」が中心、「役員」と「管理職」が半数占める

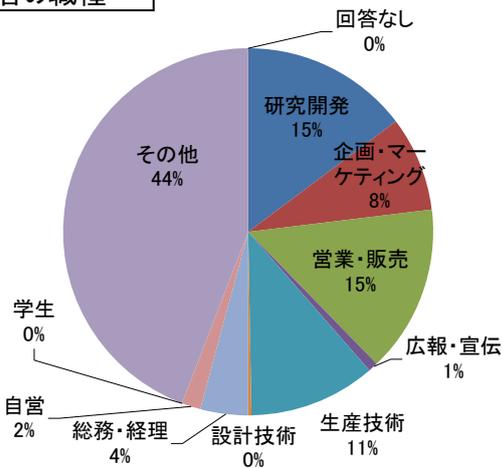
来場者の地域



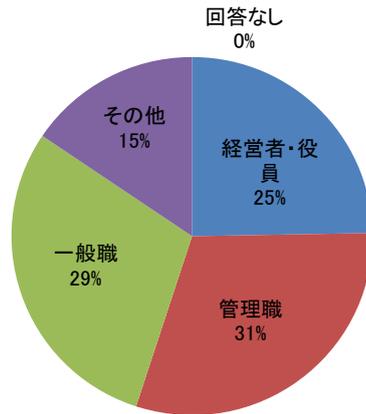
来場者の業種



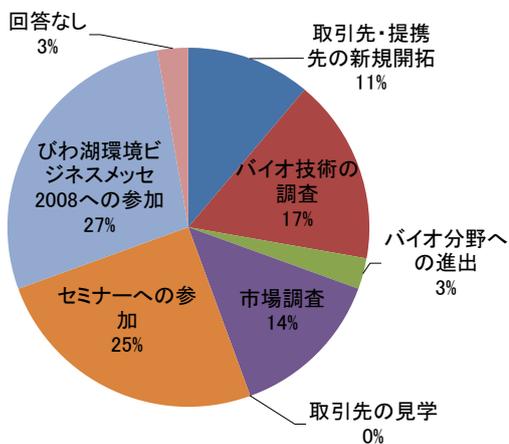
来場者の職種



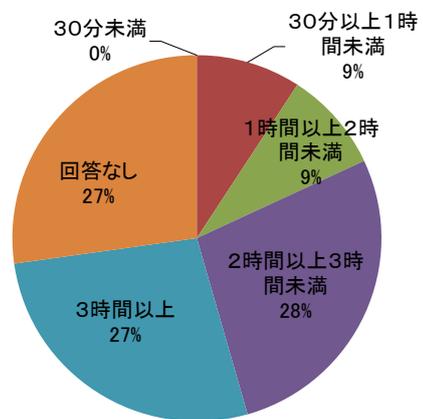
来場者の役職



来場の目的

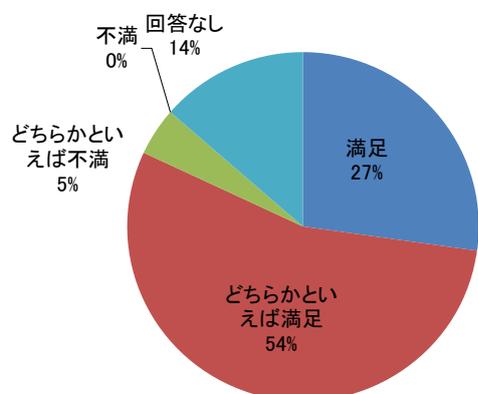


来場時間

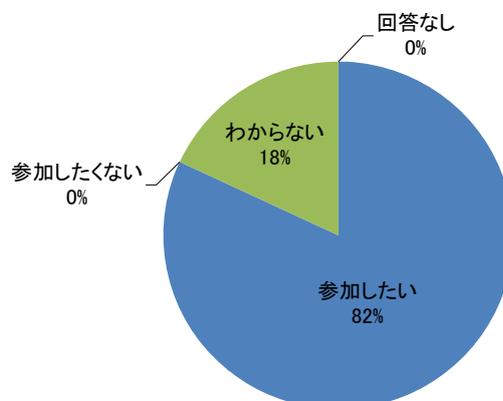


# 来場者のほとんどが、「満足」に近い回答、バイオ関心分野は「食品」と「健康」

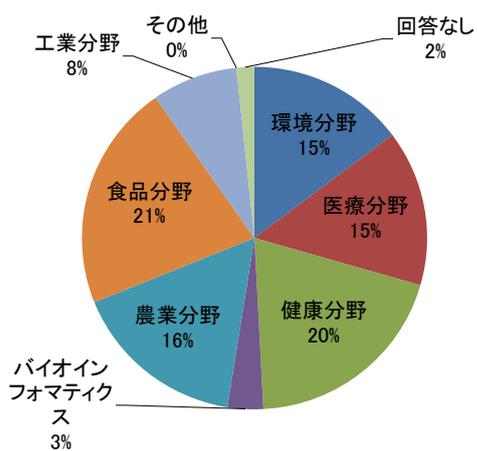
## 来場の成果



## 次年度の参加の有無



## バイオ分野別関心度



# プログラム

## 1. びわこバイオフォーラム

11月5日(水) 13:30~16:40 参加人数 93人

テーマ「食品成分の機能開発と新産業創出」

### 【開催趣旨】

年々健康志向が高まりつつある我が国において、健康維持や生活習慣病予防、老化防止に食品素材のもつ新たな生理機能や作用機能が注目されています。

今回のフォーラムでは、食品成分の機能性についての最新の研究開発や農産物をはじめとする地域資源を活用し、高機能な食品・化粧品の研究開発を行う企業の実例を紹介し、農・水産資源などの豊富な自然資源を有する滋賀において、産学官連携による地域活性化につながる新産業の創出の可能性を探ります。

13:30~13:40	開会あいさつ	滋賀バイオ産業推進機構 理事長 熊谷英彦
13:40~14:20	基調講演	「肥満・生活習慣病と食品機能」 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻 教授 河田 照雄 氏
14:20~14:50	講演	「食品機能研究から糖尿病予防食品の開発へ」 中部大学応用生物学部食品栄養学科 教授 津田 孝範 氏
15:00~15:30	企業講演	「地域資源を活用した化粧品開発と産学・産産連携」 (株)ルバンシュ 代表取締役 千田 和弘 氏
15:30~16:00	企業講演	「新しい発芽技術による高機能新食品素材の開発と地域未利用資源の活用」 (株)シードライフテック 代表取締役 落合 孝次 氏
16:00~16:40	パネルディスカッション	○パネリスト ・河田照雄 氏 ・津田孝範 氏 ・千田和弘 氏 ・落合孝次 氏 ・有元裕美子 氏(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)) ○ コーディネーター ・熊谷英彦



## 2. 展示会

滋賀バイオ産業推進機構会員企業・団体、長浜バイオインキュベーションセンター入居ベンチャー企業を中心に県内外のバイオ関連企業や大学、支援機関に出展していただきました。

出展数 26 企業・団体 (6日:19ブース 7日:18ブース)

内 訳 企業 16 大学 5 支援機関 5



### ③. バイオビジネスプレゼンテーション

1 日目は食と健康、2日目は環境とものづくりをテーマにバイオ分野のプレゼンテーションを行っていただき、なかには立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

プレゼンテーション企業・団体数 14(6日:7 7日:7) 1者20分



## プレゼンテーション&出展

**11月6日(木)**

展示会/10:00~17:00まで

**テーマ：食と健康**

時間	出展者名	プレゼンテーション内容	マッチング希望内容
13:40~14:00 <b>1</b>	<b>株式会社 シードライフテック</b> 代表取締役 落合孝次 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8 長浜バイオインキュベーションセンター 電話 0749-53-1588 <b>食 品 健 康</b>	植物種子から有用物質を抽出する技術。ブドウ種子からリスベラトロール配糖体を生成・商品化しました。この技術を新食材開発に応用し、発芽穀物から高機能素材を市場に投入し、ウエルネスとアンチエイジング効果を提供。	<b>植物種子を利用した高機能素材および高機能食材の開発</b> 新食材をお探しの食品流通、外食産業など高機能素材の販路開拓につながるマッチングを求めます。
14:00~14:20 <b>2</b>	<b>株式会社 東洋発酵</b> 代表取締役社長 木村彰彦 〒474-0046 愛知県大府市吉川町1-39-1 電話 0562-46-7677 <b>食 品 健 康</b>	微生物を使った独自の発酵技術によって生み出された植物由来抗メタボ食品原料「ユニフェス」や、食品原料としてのバラ花びら抽出物など、これまでにない魅力的な食品素材を紹介します。	<b>食品原料「ユニフェス」でメタボを解消する</b> 食品原料「ユニフェス」は脂肪の代謝促進、合成阻害、輸送阻害というメカニズムで内臓脂肪を落とす、世界で唯一の抗メタボ素材であります。機能性食品や独自の発酵技術に興味のある方は必見です。
14:20~14:40 <b>3</b>	<b>青花食研 株式会社</b> 代表取締役 竹内一男 〒525-0058 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学BKCインキュベータ 電話 077-561-2455 <b>食 品 健 康</b>	血糖値上昇抑制作用と抗酸化作用が確認された草津市の花あおばなを活用した、様々な食品開発(特に健康補助食品の開発)を通して地域特産品としての、あおばなの普及拡大に努めています。	<b>あおばなエキス末の効能について</b> あおばなを活用した健康食品などの開発を進める事業所様を広く求めています。
14:40~15:00 <b>4</b>	<b>星野科学 株式会社</b> 代表取締役 星野正美 〒611-0041 京都府宇治市梶島町石橋10-7 電話 0774-22-6699 <b>食 品</b>	当社は酵素処理搾汁により、従来利用されなかった未熟果実や加工用果実からペースト状果汁の製造を行っています。収率が上がるだけでなく、粘度や苦味の低減、香りの増強など品質改良製品の開発にも取り組んでいます。	<b>酵素処理搾汁技術の概要</b> 地域農産物をブランド化したい生産者及び国産ブランド化農産物の加工食品(アイスクリーム、飲料など)の販売を企画したいメーカー様など当社技術を活用していただく方を広く求めます。
15:00~15:20 <b>5</b>	<b>株式会社 日吉</b> 代表取締役社長 村田弘司 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地 電話 0748-32-5111 <b>健 康 分 析</b>	はかる(測定・分析)、みる(環境施設維持管理)、まもる(都市環境保全)を3本柱として、「社会立社・技術立社」を会社理念のもと、長年の経験と確かな技術で環境や食品、さらに人の健康に係るさまざまな問題に、グローバルな視点で取り組んでいます。	<b>遺伝子解析支援ビジネス</b> 肥満遺伝子検査の活用:近年、肥満に関連する遺伝子が存在する事が判ってきました。体質を知ることで自分に合ったメタボ対策が可能になります。この検査を活用し新規ビジネスを行える企業を求めます。
15:20~15:40 <b>6</b>	<b>カシロ産業 株式会社</b> 代表取締役社長 鹿城律人 〒529-0232 滋賀県伊香郡高月町落川194-1 電話 0749-85-3085 <b>美 容 医 療</b>	シルクタンパク質セリシンの製造販売、セリシン配合化粧品の販売を行っています。また、シルクタンパク質を用いて、医療やエステ用途を目的とした成形体、電子材料用途が見込まれる成形体を開発しています。	<b>セリシンを用いた化粧品とシルクタンパク質を利用した新製品開発</b> 自社ブランドのセリシン配合化粧品を販売していただける企業、天然シルク原料やその原料からなる成形体を利用していただける企業を求めます。
15:40~16:00 <b>7</b>	<b>アイ・シード</b> 代表者 中杉信三 〒586-0067 大阪府河内長野市南青葉台4-9 電話 0721-63-5843 <b>美 容 環 境</b>	竹炭、竹炭灰抽出液はミネラル成分に富み、肌の汚れを落とすとともに保湿、細胞活性化などの働きがあるといわれています。その抽出液からオール天然素材による皮膚を傷めない、人にも環境にも優しい化粧品を開発しました。	<b>竹炭と灰のミネラルによる化粧品及び洗濯洗剤の開発で環境に効果!!</b> 安全安心、環境志向を求める化粧品や洗剤販売事業者、健康関連製品販売事業者など、当社竹炭製品をお取り扱いいただく販売先、販売パートナーを広く求めます。

## 出 展

展示会/11月6日(木)/10:00~17:00まで・11月7日(金)/10:00~16:00まで

出展者名	概要	出展日
<b>15</b> <b>株式会社 イーグル技術研究所</b> 代表取締役 岩下信正 電話 076-246-1160 <b>健 康 物 づくり</b> 〒920-3104 石川県金沢市八田町東1537	豊かな眠りの環境づくり、健康にとって最も大切な快眠・安眠の条件を満たす癒しの枕を開発しました。能登ヒバの香り成分が澄み切った清らかな森林浴に誘ってくれます。自然素材を手作りにより一品一品心を込めて作りました。	<b>6日 7日</b>
<b>16</b> <b>小松電子 株式会社</b> 代表取締役社長 田中義也 電話 050-3366-3460 <b>環 境 物 づくり</b> 〒923-8642 石川県小松市安宅町甲135	生ごみを廃棄するのではなく、良質堆肥をつくり、有機野菜を育て、未来に有効なものとして循環させる「自然力を活かした廃棄物の全く出ない循環システム」です。	<b>7日</b>
<b>17</b> <b>株式会社 バイオセラピーメディカル</b> 代表取締役社長 海平和男 電話 0749-53-1485 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8 長浜バイオインキュベーションセンター <b>医 療</b>	近年糖尿病性壊疽や褥瘡などの難治性創傷に対する画期的な治療法としてマゴットセラピー(ウジ治療)が世界的に注目されています。当社は全国の医療機関への医療用無菌ウジの販売と治療のノウハウの提供を行っています。	<b>6日</b>
<b>18</b> <b>山科精器 株式会社</b> 代表取締役 大日常男 電話 077-567-2151 <b>医 療 物 づくり</b> 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂525番地	次世代医療への貢献。μ流路と遠心力を組み合わせることでサンプル量を問わず連続的に全血から血球分離ができる「細胞分離装置」や3軸回転機構と液体循環回路を備えた万能型の「多機能回転振盪器」を展示します。	<b>7日</b>
<b>19</b> <b>石川県立大学</b> 学長 丸山利輔 電話 076-227-7405 <b>大 学</b> 〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松1丁目308番地	本学の生物資源工学研究所では、「有用タンパク質を生産する植物の開発」、「微生物の遺伝子や酵素を利用した有用物質の生産」、「バイオ技術による有用作物の作出」、「廃棄物の抑制」等に取り組んでいます。	<b>6日 7日</b>
<b>20</b> <b>滋賀医科大学</b> 学長 馬場忠雄 電話 077-548-2082 <b>大 学</b> 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町	滋賀医科大学は、特色ある重点研究プロジェクトを推進し、その研究成果を産業化することにより、高度な知的資源を社会に還元し、社会福祉に貢献します。また、他大学とも積極的に交流し、開かれた大学を目指します。	<b>6日 7日</b>

11月7日(金)

展示会/10:00~16:00まで

テーマ：環境とものづくり

時間	出展者名	プレゼンテーション内容	マッチング希望内容
11:00~11:20 8	<b>株式会社 明豊建設</b> 代表取締役社長 本庄浩二 〒526-0804 滋賀県長浜市加納町394番地 電話 0749-62-6580 環境緑化	コケ生産技術については、従来一般の屋外圃場で行われ、品質の不揃い、気象被害、不安定供給など多くの課題が存在しますが、当社の技術は人工環境下のコケ培養であり、従来法の課題はすべて解決されています。	緑化用コケバイオマテリアル生産制御システムの実用化販売代理店やデザイナー、独自で屋上緑化等の施工技術を持っているあるいは考えている企業、測量設計・建設関係で壁面・屋上緑化等の導入を考えている企業を求めます。
11:20~11:40 9	<b>関西オートメ機器 株式会社</b> 代表取締役 櫻田島彦 〒520-2152 滋賀県大津市月輪2丁目18番60号 電話 077-545-6851 環境ものづくり	微細な気泡のマイクロバブルは、様々な工学的特性を有し、農林水産・工業・医療など多様な分野での活用が期待できます。当社のマイクロバブル発生装置は、独自の流体技術により、様々な液体での使用が可能です。	マイクロバブルの生成技術と用途開発 マイクロバブルは直径0.1ミリ以下の気泡のことを言い、その物理特性は、様々な用途への利用が考えられます。当社の実績例を交えつつ、この技術に興味のある方をお待ちしております。
11:40~12:00 10	<b>日本アドバンストアグリ 株式会社</b> 代表取締役 辻 昭久 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8 長浜バイオインキュベーションセンター 電話 077-588-6121 アグリものづくり	HEFL照明を用いた省エネルギーな人工植物栽培技術と工場野菜の生産販売。近接照明栽培による多段式栽培と波長特性を活かした野菜工場、苗生産、クローン栽培、コケ栽培などのアプリケーション技術を有しています。※6日は、出展のみ	新しい光が農業を変える「HEFL照明最新技術紹介」 省エネ技術を利用した植物の人工栽培に興味のある方。野菜工場、苗生産、クローン栽培、コケ栽培などに興味のある方。HEFL技術の他へのアプリケーションに興味のある方を求めます。
14:40~15:00 11	<b>株式会社 日吉</b> 代表取締役社長 村田弘司 〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地 電話 0748-32-5111 環境衛生分析	はかる(測定・分析)、みる(環境施設維持管理)、まもる(都市環境保全)を4本柱として、「社会立社・技術立社」を会社理念のもと、長年の経験と確かな技術で環境や食品、さらに人の健康に係るさまざまな問題に、グローバルな視点で取り組んでいます。	衛生管理は遺伝子検査の時代 レジオネラ・腸管性大腸菌・ノロウイルスの遺伝子検査：遺伝子検査によりこれまで困難とされてきた検査が迅速に行えるようになりました。食品衛生に限らず様々な分野での活用、新規ビジネスを行える企業を求めます。
15:00~15:20 12	<b>京都大学農学研究科 応用生物学海洋生物機能学分野</b> 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 電話 075-753-6446 環境浄化	貝殻の形成機構を研究するなかで、明らかになった貝殻ペプチドを利用した炭酸カルシウムの結晶構造形成機構とその応用技術である貝殻を主成分とする水質浄化方法についてご紹介させていただきます。	貝殻サイエンスの環境ビジネスへの展開 ・土木工事現場で安価で迅速な濁水処理をお探しの方。 ・六価クロムなど重金属処理でお困りの方。 ・凝集沈殿法を用いた廃液処理の開発をお考えの方。
15:20~15:40 13	<b>株式会社 美創技研</b> 代表取締役 西島恵知 〒836-0054 福岡県大牟田市天領町3丁目10-10 電話 0944-57-5324 環境浄化	300種の複合酵素の触媒作用を活かして池川ダム等の水の浄化や土壌汚染の浄化を中心に安全安心な自然環境を確保します。さらに、複合酵素により高濃度難分解の排水を分解することにより自然環境に対する負荷を軽減します。	琵琶湖再生についてのご提案 ・琵琶湖や周辺河川に排水を放流している公共・民間企業 ・琵琶湖再生に関心のあるNPO団体および民間企業
15:40~16:00 14	<b>中部飼料 株式会社</b> 取締役社長 平野 宏 〒478-8502 愛知県知多市北浜町14番地6 環境アグリ	当社では、食品製造工場等で大量に発生する食品残さを発酵により飼料化する研究に取り組んでおり、これらの飼料を家畜に給与し、得られる副産物を農地に還元する循環型農業のモデル構築を目指しております。	未利用有機資源を利用した家畜用飼料及び有機質肥料の研究開発 私たちは、食品製造工場等で発生する食品残さを発酵処理して得られる飼料を家畜に給与し、得られる副産物を農地に還元する循環型農業のモデル構築に貢献していただける生産者を求めています。

出展者名	概要	出展日
21 <b>長浜バイオ大学</b> 学長 下西康嗣 電話 0749-64-8100 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1266番地 大学	近畿経済産業局や他の支援機関との連携のもと、企業間の情報交換支援やバイオビジネスの事業化を進める企業や研究者を招いてシンポジウムを開催するなど、企業のニーズに応える多彩な支援を展開しています。	6日 7日
22 <b>立命館大学</b> 研究部次長 野口義文 電話 077-561-2632 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 大学	ライフサイエンス分野の新たな教育・研究の新たな展開のため、2008年度に開設した生命科学部と薬学部を紹介し、その研究成果の一つとして、バイオテクノロジーを活用した新たな調味料についてご紹介いたします。	6日 7日
23 <b>中小機構 北陸支部 いしかわ大学連携インキュベータ(i-BIRD)</b> 北陸支部長 眞田 徹 電話 076-246-4150 〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松3丁目570番 支援機関	金沢大学や石川県立大学等県内大学が有する環境・食品等分野での研究シーズの事業化、大学との共同研究による企業の新事業創出を促進する施設です。入居者の事業活動及びこれまでの取り組みについて紹介いたします。	6日 7日
24 <b>財団法人 京都高度技術研究所</b> 理事長 高木壽一 電話 075-315-3642 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地 支援機関	(財)京都高度技術研究所では、京都市が策定した「京都バイオシティ構想」に基づく、「京都バイオ産業技術フォーラム」の下、企業と大学の研究開発ネットワークを形成し、バイオ産業の育成と振興を支援しています。	6日 7日
25 <b>財団法人 滋賀県産業支援プラザ</b> 理事長 高橋宗治郎 電話 077-511-1414 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 支援機関	都市エリア産学官連携促進事業(発展型)ーびわこ南部エリアーにより推進している「診断・治療のためのオンサイト診療システムの開発」についての事業概要および研究開発成果の展覧を行います。	6日 7日
26 <b>長浜バイオインキュベーションセンター</b> 所長 森 建司 電話 0749-65-8808 〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8 支援機関	日本で唯一のバイオ系単科大学である長浜バイオ大学をはじめ多くの企業等と連携し、様々なバイオ分野のベンチャー企業が入居されています。ビジネスマッチング等興味のある企業様はぜひお越しください。	6日 7日
27 <b>財団法人 奈良県中小企業支援センター</b> 理事長 荒井正吾 電話 0742-36-8316 〒630-8031 奈良県奈良市柏木町129-1 なら産業活性化プラザ3F 支援機関	奈良に古来から用いられている優れた植物素材の吉野クズ、大和マナ、大和トウキ、大和シャクヤク、大和茶の機能性に着目し、実用化技術の開発を行い、新商品の創出や製造工程の改良、品種開発に取り組んでいます。	6日

#### 4. Bio ビジネス戦略セミナー

◇11月6日 11:00～12:00 参加者数 40人参加

##### 「メタボニーズの高まりと健康産業の動向」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)研究開発第1部 副主任研究員

**有元 裕美子 氏**

##### 【講演要旨】

今年4月から特定健診・特定健康指導が制度化され、メタボ対策をはじめとする健康予防に関心が一層高まるなか、健康食品やサプリメントなど機能性食品需要の伸びが見込まれます。当セミナーでは、こうした健康産業の市場動向について事例を交えて紹介します。



◇11月7日 13:30～14:30 参加者数 48人参加

##### 「バイオを支えるものづくり産業」

日経BP社 バイオ部長兼日経バイオテク編集長 **橋本 宗明 氏**

##### 【講演要旨】

iPS細胞や再生医療、最先端の創薬研究では、実は計測や分析、精密加工などものづくりの技術が活躍する場面が大きい。政府は医療機器産業の振興策を打ち出したが、その背景には日本が強みとするものづくり技術を利用すれば、医療機器産業は高い国際競争を持ち得ると考えてのことだ。また、環境分野ではバイオマスエネルギーなどへの利用が叫ばれているが、これもものづくりの技術との組み合わせによって、技術革新が期待されている。バイオとものづくり技術とのかかわりについて、事例を交えて紹介する。



## 5. ランチョン交流会

11月6日(木)・7日(金) 12:00~13:30 参加費:2,000円

参加者数: 6日 38人 7日 30人

出展者と来場者相互の名刺交換や交流の場として開催しました。また、6日は、出展者の製品の試食会も行いました。

- ・青花食研(株):あおばなエキス末入りお茶および補助食品
- ・(株)シードライフテック:発芽大豆粉入りゼリーおよびクッキー
- ・日本アドバンスアグリ(株):植物工場(人工光)で育てた無農薬野菜



# 広報活動

広報期間 平成20年7月～

## 1. 広報ツール

案内リーフレット 11,000



DMチラシ 60,000枚



公式ホームページ



訪問者数	7月	1255 件
	8月	1577 件
	9月	2206 件
	10月	2578 件

インターネット広告(検索連動型広告)

Yahoo!	8月～11月掲載
Google	9月～10月掲載

## 2. 広報先・協力依頼先

○報道機関資料提供

県政記者クラブ  
湖北地域管轄記者クラブ

○案内リーフレット配布協力機関

案内先	チラシ配布数
滋賀バイオ産業推進機構会員	220
有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会会員	130
滋賀県中小企業家同友会会員	700
(社)滋賀経済産業協会会員	400
滋賀経済同友会会員	100
長浜市	300
長浜商工会議所会員	1,200
滋賀県中小企業団体中央会会員	400
(財)滋賀県産業支援プラザ交流サロン	100
滋賀県関係機関	370
滋賀県内大学	300
企業ダイレクトメール	2,300
各出展者	1,320
各見本市出展ブース	200

○ダイレクトメール

びわ湖環境ビジネスメッセ2008からのDM	60,000
-----------------------	--------

○ホームページ・メールマガジン掲載協力機関

※HPは検索エンジンで調査

滋賀バイオ産業推進機構	HP・メルマガ
滋賀県	HP
長浜市	HP
長浜バイオ大学	HP・メルマガ
有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会	HP・メルマガ
滋賀県産業支援情報メール	メルマガ
(財)滋賀県産業支援プラザ	メルマガ
滋賀県企業情報検索市場skki(すっき)	メルマガ
立命館大学	HP
(株)日吉	HP
JSTサイエンスポータル	HP
近畿経済産業局	HP・メルマガ
近畿バイオインダストリー振興会議	メルマガ
大阪商工会議所	メルマガ
京都バイオ産業技術フォーラム	メルマガ
奈良県中小企業支援センター	HP
(財)バイオインダストリー協会	メルマガ
首都圏バイオ・ゲノムベンチャーネットワーク	メルマガ
かずさバイオベンチャーネットワーク	メルマガ
NPOバイオものづくり中部	メルマガ
(財)三重県産業支援センター	HP
ファルマバレーセンター	HP
(財)岐阜県産業経済振興センター	メルマガ
(財)ふくい産業支援センター	HP
(財)石川県産業創出支援機構	HP
富山県バイオ産業振興会	HP
(財)四国産業・技術振興センター	HP
日本新事業支援機関協議会(JANBO)	HP・メルマガ
全国IMネットワーク	メルマガ
滋賀IMネットワーク	メルマガ
中小企業基盤整備機構「J-Net21」	HP
経済産業省クラスターメールマガジン	メルマガ

## 取材と報道

○NHK がイベント当日、出展者の(株)明豊建設 様に取材をされました。

放映:11月13日 ・ 11月18日



○日経 BP 社がイベント当日、出展者の京都大学大学院農学研究科海洋生物機能学分野 様に取材をされました。

掲載:日経バイオテク ONLINE 11月25日

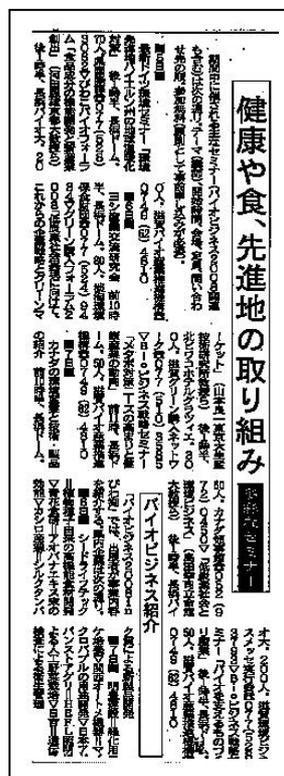


## ○開催中の新聞記事



11月6日 中日新聞

その他びわ湖環境ビジネスメッセとともに多数掲載



11月4日 京都新聞



12月5日 日刊工業新聞

問い合わせ先

滋賀バイオ産業推進機構(SBO)事務局

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町 1281-8

長浜バイオインキュベーションセンター内

TEL 0749-62-4810 FAX 0749-62-5656

E-mail [info@shiga-bio.jp](mailto:info@shiga-bio.jp) URL <http://www.shiga-bio.jp>